

1 - 4 有珠山周辺の地震活動(2000年3月~4月)

Seismic activity in and around the Usuzan volcano (March-April, 2000)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

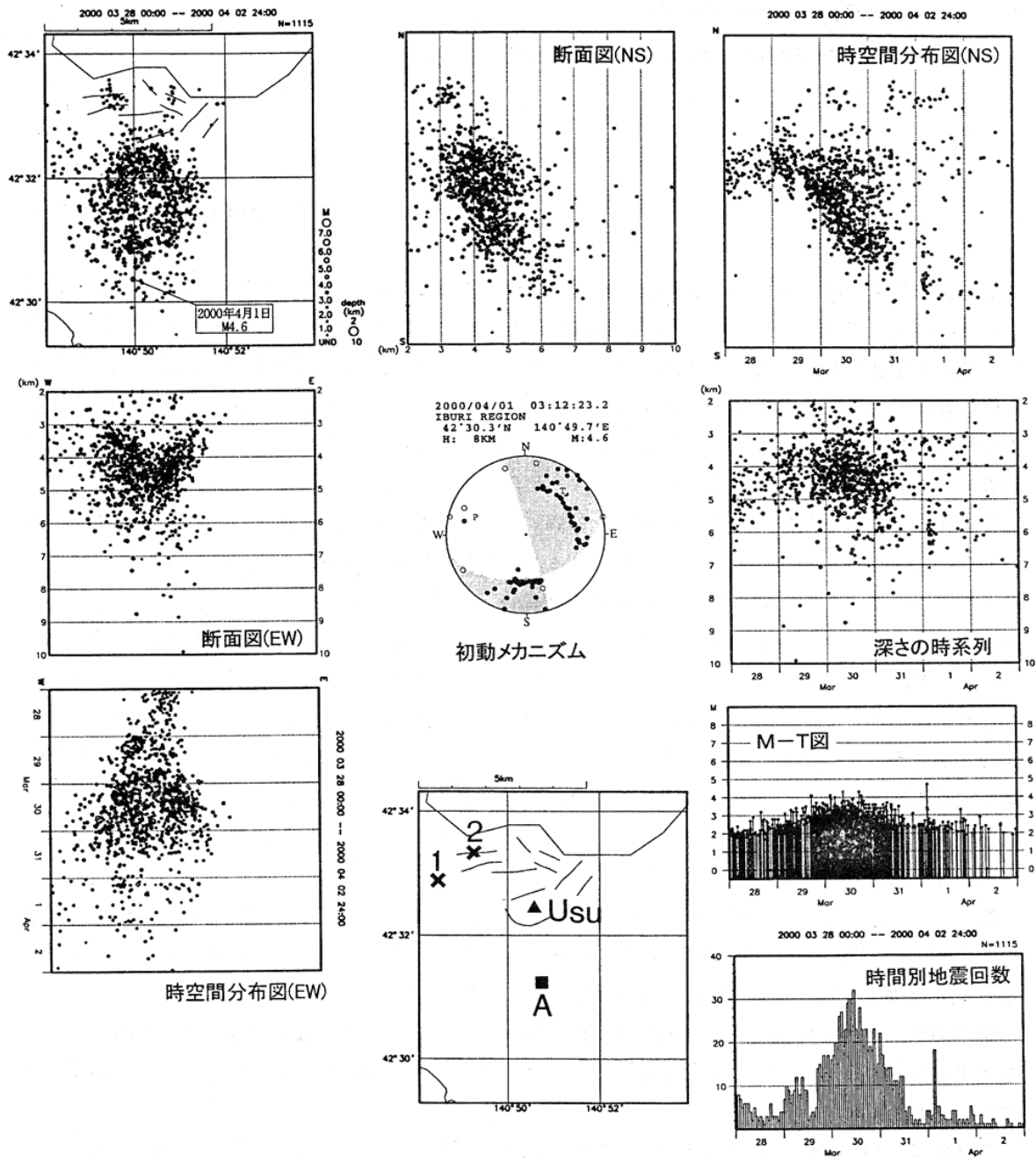
2000年3月31日13時10分頃から有珠山西側の西山の西(第1図の×印1)から噴火が始まり、2kmほど東北東にある金比羅山付近(×印2)でも4月1日の昼前頃から噴火が始まった<「平成12年(2000年)有珠山噴火」(The eruption of Usuzan volcano in 2000)>1)。これら一連の噴火活動の前から発生していた活発な地震活動の簡単な報告を行う。

微小な地震が3月27日午後過ぎから発生し始めた。第1図に示されるように、28日になって、M2クラスの地震が発生し始め、29日半ばまで、地震は約2kmの範囲の領域内で発生していたが、その後、活動域は南および東西へ広がっていくと同時に、深部へも広がっていった。4月1日には、活動域の南縁付近でM4.6の地震が発生し、北西-南東方向に圧力軸を持つ地震であった。ここで用いた震源データは、気象庁の有珠山定常観測点Aの検測値を、ルーチン処理の検測値データに追加し、観測点補正を加えて、再計算したものである。また、初動メカニズムはルーチンの震源データによる。

地震処理能力の影響で、3月28日~29日12時、29日12時~30日、31日以降と3つの期間によって、地震の検知能力が異なっている。そのため、地震回数そのものには意味がないが、30日の半ばに地震活動のピークを迎えていたことは間違いない。また、噴火開始以降、さらに地震活動は低下している。

参 考 文 献

1) 気象庁：特集 有珠山の噴火活動(3)，平成12年5月地震火山月報(防災編)(2000)，22-24



第 1 図 有珠山周辺で発生した地震活動 (2000 年 3 月 28 日 ~ 4 月 2 日)

Fig.1 Seismic activity in and around the Usuzan volcano (March 28 to April 2, 2000)